

会 議 結 果

会議名 (審議会等)	令和元年度高砂市子ども・子育て・若者会議 第1回子ども・子育て部会
開催日時	令和元年8月8日(木) 18:30~20:30
場 所	高砂市役所 南庁舎5階大会議室
会議公表	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 (傍聴者定員数: 10人) (傍聴者数: 0人) <input type="checkbox"/> 非公開 (非公開理由: (例) 情報公開条例第7条の規程に該当するため。等)
事務局 (担当課)	こども未来部 子育て支援課 (TEL 079-443-9024)
議 題	(1) 第2期子ども・子育て支援事業計画策定に係る高砂市子ども・子育て・若者支援プラン骨子案について ・高砂市子ども・子育て・若者支援プラン(骨子案)について ・量の見込みと確保方策について (2) 幼児教育・保育の無償化について (3) その他
出席者	委員12名(欠席2名)
結 果 (議事録又は議事概要)	
発 言 者	内 容
事務局	<p>みなさんこんばんは。本日はお忙しい中、お集まりいただきましてありがとうございます。本日の会議資料の確認をお願いいたします。</p> <p style="text-align: center;">【配布資料の確認】</p>
事務局	<p>1 開 会</p> <p>それでは、定刻を過ぎましたので、令和元年度第1回子ども・子育て部会を開催させていただきます。開会に先立ちまして、当会議の公開についてですが、高砂市審議会等の会議の公開に関する指針に基づきまして、公開とさせていただいております。また、本日の傍聴者は0名となっておりますのでよろしくお願い申し上げます。</p>

	<p>それでは、議題に入る前に委員 14 名のうちの委員の出席についてお伝えいたします。</p> <p style="text-align: center;">【委員の出欠について確認】</p> <p>それでは、これからの会議の進行は部会長にお願いいたします。部会長よろしくお願 いいたします。</p>
部会長	<p>よろしくお願いいたします。それでは、議題に入りたいと思います。</p> <p>議題（1）第 2 期子ども・子育て支援事業計画に係る高砂市子ども・子育て・若者支 援プラン骨子案についての説明を事務局からお願いします。</p>
事務局	<p>【資料① 子ども・子育て・若者支援プラン（骨子案）について説明】</p>
部会長	<p>事務局からの説明が終わりました。ただいまの説明につきまして、ご意見・ご質問等 ございましたらお願いいたします。</p>
委 員	<p>16 ページの小・中学校のいじめの人数が、突然 29 年とか 30 年度からいっきに増えて いますが、急に増えたのか、発見するのがすごく上手になったのか、急に爆発的に増え たことなのか、その辺もお聞きしたいです。</p>
事務局	<p>申し訳ありません。1 点修正をお伝えするのを言い忘れておりました。</p> <p>この表の下から 2 行目、中学校のいじめの件数の平成 30 年度のところで、934 と なっておりますが、93 件の誤りでございます。この部分は誤りではありますが、全体的 に 30 年度は増加している状況となっております。</p>
事務局	<p>先ほどのご質問の件で補足させていただきますと、いじめの件数の調査につきまして は、未来戦略推進室の青少年センターで行っております。</p> <p>29 年度に急に増えておりました、特に小学校につきましては、30 年度も倍増している ように見えますが、理由がありまして、28 年度まではいじめの件数に関する調査につ きましては年に 1 回行っておりました。29 年度につきましては、28 年度に事件等が社会的 に問題になったということで、いじめに関して、より詳細に吸い上げようと年に 3 回学</p>

	<p>級ごとに行うようにしています。その関係で数が累計で増えているのが1点と、29年度に調査の方法も変わりまして、潜在化したいじめをより掘り起こしていこうと、積極的に認知をするようになりまして、いじめの定義自体が下がってきたことにより件数も増加しています。</p> <p>小学校につきましては、30年度も増えていますが、29年度までは調査対象にしては、小学校4年生～6年生を調査しておりましたが、30年度からは全学年を対象に調査しております。その関係で小学校は増えております。中学校においては、93件で171件から減っているように見えますが、これにつきましても、担当者に確認したところ、調査において発見する前に、いじめに発展する前に指導の強化をしているとのことで、いじめの件数の認知に関しては、減っているようにみうけられる状況になっております。</p>
委員	<p>ありがとうございました。</p>
委員	<p>今の回答に関してですが、そういうことは何か記載していないと、同じいじめ案件が3回カウントされている可能性もあるとか、説明を受けて理解できましたが、この表だけでは不親切で、とんでもないことが高砂市でおこっているのではないかと感じてしまうのではないかと感じました。この表に関してもう一点、不登校と長期欠席が別々に出ていて長期欠席の定義を何でされているのか、文科省の場合、長期欠席の中に不登校がひとつの理由として入っているのか、文科省の定義で言えば、これが2つ並べているのは違和感があります。その件に関しては、ご回答をいただけたらと思います。</p>
事務局	<p>おっしゃるように、この表の形式自体に問題がありますので、以後は、29年度から調査方法をこのように変えた記載を心がけるように改めさせていただきたいと思います。</p> <p>不登校の件につきましては、担当が変わります。</p>
事務局	<p>不登校と長期欠席の定義ですが、長期欠席は連続7日以上欠席でカウントしています。不登校につきましては、30日以上欠席ですので、連続ではなくても（それぞれ）10日、10日、10日という風に、年間30日以上で不登校というところで定義しています。</p> <p>※会議後、長期欠席の定義について確認したところ、「連続又は断続して30日以上欠席した者」でありました。次回会議で訂正いたします。</p>

委員	<p>それってオリジナルですよ。文科省の定義では、年間30日以上で長期欠席となっていると思います。分けて書かれている理由は分かりましたが、通常何の説明もなければ違和感を誰もが持つような気がします。そのようにされたのであれば、それこそ丁寧に説明しないと難解でよく分からない気がします。以上です。</p>
事務局	<p>ありがとうございました。表記につきましては、誤解がないように分かりやすいように事務局で相談してまいりたいと思います。</p>
部会長	<p>私の方から1点、4年生からと1年生からということではじめの件数をあげているが、4年以上だけなら比較してどう変化があるのか、増えているようにみえるが4年生以上はいかがでしょうか。</p>
事務局	<p>本日は、学年ごとの比較のデータを持ち合わせておりませんので回答ができません。申し訳ございません。</p>
部会長	<p>では、またよろしく願いいたします。ほか、いかがでしょうか。それでは続きまして、量の見込みと確保方策について（案）を事務局から説明をお願いいたします。</p>
事務局	<p style="text-align: center;">【資料② 量の見込みと確保方策について説明】</p>
部会長	<p>事務局からの説明が終わりました。ただいまの説明につきまして、ご意見・ご質問等ございましたらお願いいたします。</p>
委員	<p>7ページのショートステイのところ、おたずねしたいことがございます。</p> <p>実績値をみていると良く利用されている印象ですが、実際、延べの件数と思うのですが、1人の方が何度もリピーターのように使われるかたちで、この数字がでてきているのか、それとも1回ずつでこれくらいの件数がでてきているのかを教えてくださいと思います。あわせて、ショートステイの時の送迎はどのようになっているのかも教えてください。</p>

事務局	<p>ショートステイについてですが、1人の方が何度も利用されているものもございます。育児をするなかで、育児に疲れてしまって一時的にでも子どもをあずけて、レスパイトとして利用されている方もいらっしゃいますし、入院中どうしても子どもを見る大人がいないので利用している方もいらっしゃいます。今のところ、リピーターが増えてきている状況ではございます。</p> <p>ショートステイ先までの送迎についてですが、基本的には保護者の方をお願いしていますが、施設の方で送迎をサービスしてくださっているところもございますし、国の方でも、送迎について検討・対応していくように文書がきておりましたので、今後については、対応を考えていかなければならないと考えております。</p>
委員	<p>放課後児童健全育成事業の量の見込みと確保で、荒井と米田と阿弥陀が今後、場所的に難しくなるとのことで、今現在、高砂も面積的には39+39の78人が入れるスペースが実際はある状態ですが、片方の部屋がクーラーをつけてはだめという状態で、今現在、60何人が実質1部屋で過ごしています。</p> <p>荒井のほうも小学校の敷地内にあるプレハブの専用室ですが、面積的に91人くらいで、今現在、低学年が入っていて99人で越えています。</p> <p>高学年は小学校から離れた場所に廃ビルをきれいに整備してお預かりしている状態で保護者の方からは、同じ小学校内で交通量の多い道を通るので、要望は出ていますが、どうしても荒井小学校自体が空き教室が全くない状態で、また、運動場の方もスペースをつくることのできない状態です。</p> <p>伊保小学校も隣に倉庫のようなところがあり、荷物を整理していただいて過ごしています。高学年だけそちらで勉強のために使用させていただいていますが、クーラーの設置ができていないので、元の部屋で夏休みは過ごしている状況をお伝えしたいと思っています。曾根小学校の学童保育所ですが、3年生と4・5・6年生が幼稚園の2階で過ごしています。1・2年生だけで、59人くらいが入るスペースで過ごしています。1・2年生だけで66人いて、なかなかいっぱいな状態です。曾根は若干増えている状況なので検討いただければと思います。</p>
事務局	<p>キッズ・スペースさんには市内10か所で、学童保育事業を行っていただいております。年々、児童が増えるなか、荒井でいうと学校内の空き教室をお借りするのが1番ですが、いっぱい入れない状況ができていなかで、キッズ・スペースさんには建物を</p>

	<p>確保いただいている状況で大変無理なお願いをしているところではあります。どの学校も児童数が増えてきているような状況で、夏の暑い中、子どもの安全も確保しつつ、クーラーを施設に付けられるように、学校や教育委員会と協議・相談しながら、対応を考えていきたいと思っておりますが、学童ではスペースの問題がこれからもっと問題になってくると考えておりますので、そのことについても検討していきたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。</p>
部会長	<p>クーラーがないと熱中症等が心配ですが。</p>
委員	<p>クーラーのある部屋に固めています。30人、30人でこの春先とかは2部屋で過ごしていましたが、暑くて本当に使えないので、クーラーのある部屋で過ごしている状況ですが、環境としてはよくないです。一般の小学校の教室に畳を引いて、地べたに座る子どもたちが60人いるような状況で和机に6人で囲んで弁当を食べるのを想像していただけたらきついことが分かると思います。</p>
部会長	<p>それについては、ご検討いただけるということですか。</p>
事務局	<p>現状をおうかがいしていく中で検討していきたいと思っております。</p>
部会長	<p>ありがとうございました。ほかにございますか。</p>
事務局	<p>今うかがった件ですが空調に関しましては、正直、学校の状況、現状が把握できてなかったというのはございます。現実的にどうできるかはわからないので、お答えできませんが、今後、こども未来部とも共有して考えていきたいと思っております。</p> <p>もう一点、荒井小学校の件ですが、学童保育の利用者が多い学校は、児童数も多いので、教室の空きも少ないのでご理解いただきたいです。学校の意見も聞きながら、できるだけ提供できるように、調整していきたいと思っておりますのでご理解いただきたいです。</p>
部会長	<p>クーラーと部屋の数、調整していただいて検討していただきたいと思っております。他によろしいでしょうか。</p>

副部会長	<p>13 ページの病児保育事業に関してですが、すくすく広場を開設していますが、実績としてあがっている数字は、高砂市の子どもたちの預かり人数になっています。量の見込み、確保が出るにあたって、他市の子どもも預かっている実情も数字で出していただきたいです。944 人は高砂市の預かりで、全員では1,335 名、預かっております。加古川市では316 名、明石・姫路市で75 名、病児保育事業は市によって方針が違うので、姫路市は市の子どもしか預からないので、ほかの数字と違う状況があるので、きちんと数字をあげていただかないと正確な量の確保につながらず、正確な判断ができないと思います。議論の情報としては少ないと思います。次回から、正確な数字を出していただけたら、今後の病児保育を考えるにあたって、皆さまから色んな意見をいただけるとと思いますので、よろしくお願いいたします。</p>
事務局	<p>計画については、高砂市内の実績値のみ記載となっていて、他市利用の分が含まれていない状況ですので、次回の会議の場では他市の数字もあわせてかたちで、資料を提供させていただきたいと思います。計画については市の見込み量しかおられることはできないですが、参考としまして、すくすく広場の現状も踏まえて資料を提供させていただきます。</p>
部会長	<p>それについては、加古川市と明石市と高砂市ということですか。病児保育の人数ですね。</p>
副部会長	<p>人数は、944 名が高砂市で、316 名が加古川市、明石市・姫路市、その他が75 名、75 名というのは高砂市・加古川市以外です。トータルで1,335 名が平成30 年度の実績です。</p>
委員	<p>他市の方の受け入れがあるから、高砂市のお子さんをお断りすることは起こったりしているのでしょうか。優先的に高砂市を受け入れているのか、余裕があるから他市のお子さんを受け入れているのか、そのあたりを教えてください。</p>
副部会長	<p>定員が12 名なので、高砂市の方が預かれないというわけではありません。</p> <p>ただ、1 日の定員が12 名なので、病気のお子さんが多い時に順番に予約をとっていきます。12 名の方は預かることができますが、13 名の方からはキャンセル待ちで、それが、たまたま高砂市の方ということもあります。</p>

委員	<p>ということは、明石市の方を受け入れたので、高砂市の方に今日はすいませんとなっているということですね。</p>
副部長	<p>そうですね。12名でいっぱいになったときには、そういうことも確かにありますが、他市のお子さんを受け入れることで、高砂市のお子さんが利用できないことが、今後増えてくるようでしたら、他市の方はお断りしないといけないかもしれないです。利用料金を他市の方は少し高めにするなど、園としては考えています。</p>
委員	<p>他市の方を受け入れているどころではなくて、高砂市で1か所あって、実際の数字をどう読み解いていけばいいのかというところで、計画としては高砂市だけでも、現実の数字がほしいということをおっしゃったのですね。</p>
副部長	<p>現状を言いますと、加古川市は定員が12名、明石は6名くらい、人口比で見ましたら、加古川、明石・姫路市、この辺だと神戸が病児保育施設は充実していますが、神戸と高砂は同じくらいで、明石・姫路市は病児保育施設が少なく、そこで預かれない方が定員の多い高砂市に流れてきている可能性も少しはあると思います。</p> <p>1,335名の内の75名なので決して多くの数ではないです。</p>
部長	<p>事務局の方からいかがでしょうか。</p>
事務局	<p>病児保育事業ですが、年々増えていまして、インフルエンザ等のピーク時は定員を超えてしまうのは、おうかがいしていますので、今後の確保については、アンケートのなかでも近いところに病児保育があればという意見がありましたので、ほかでお願いできる場所も含めて、検討していきたいと思っています。</p>
部長	<p>他市の数も入れますか？</p>
事務局	<p>量の見込みとしては、他市は入れない状況です。高砂市の計画値ということで、算定していくところでありますので、確保については前回第1期のとき3,100というカタチで、十分確保できているようにみえますが、病気のときは一時に集中してしまうので、数字だけでは十分足りているようにみえますが、実態としては、定員を超えてしまっ</p>

事務局	<p>います。確保の表記の方法も考える必要があるのではないかと考えています。</p> <p>補足です。事業計画の目的にあります量の見込みと確保方策につきましては、各市におきまして、市のニーズは市で確保しなさいに対する計画となっております。本来、他市でのニーズがあるのであれば、他市の施設等で受け入れる事業内容を確保すべきであり、本市につきましては、本市のニーズに対する施設、事業のなかで考えを計画で定めていきたいと思っています。病児保育につきましては、他市の状況も、受け入れを各事業所で行っていますので、別紙で提示させていただいて現状をお示しさせていただきたいと思います。そのなかで、高砂市の確保方策もお示しさせていただきたいと思います。</p>
副部会長	<p>お願いですが、実際明石や姫路から来られている方で、住まれている場所と保育園の場所とすすく広場の位置関係、姫路から西の方に保育園がある方は、戻ってこないといけないので利用されないですが、明石の方は利用されますが、ほとんどの方が高砂に職場・保育園があるなど事情がありますので、預かる方は預かるべきだと思います。高砂の住民の方が、事情があつて明石で預かってもらっていることもあると思います。お金の流れではありますが、利用人数に伴って市町が費用を按分するなどの制度が、今後できてくるかと思いますが、頑張つて行政の方も動いていただけたら助かるとと思いますので今後の検討をよろしくお願いします。</p>
部会長	<p>よろしくお願ひいたします。他にご意見はございますか。引き続き議題を進めてまいります。議題2、幼児教育・保育の無償化について事務局から説明をお願ひいたします。</p>
事務局	<p style="text-align: center;">【資料③幼児教育・保育の無償化について、 資料④幼児教育・保育の無償化に対する意見募集の結果についての説明】</p>
部会長	<p>事務局からの説明が終わりました。ただいまの説明につきまして、ご意見・ご質問等ございましたらお願いします。</p>
委員	<p>10月からの無償化について、保育料だけでなく給食費の無償化も子育て家庭にとっては経済的負担の軽減は喜ばしいことだと思いますが、保育士不足が避けられない問題</p>

	<p>だと思えます。産休代理すら見つけられていない現状がありまして、保育士就職フェアや採用試験の回数を増やしておられるが、根本的な解消にはなっていないのではないかと思います。そこで考えたなかで、神戸や明石に流れるのは賃金の問題があるかと思えます。早急に賃金を上げればよいという問題ではないかもしれないが、早朝保育や居残り保育などピンポイントに絞った職員の採用や正規職員とともに学生バイトの確保など、採用基準を広げてできないかと思えます。時間給を上げたらいいというが、難しくはありますが、高砂市で勤めてよかったと思えるようにするためには、付加価値のようなものがあればいいのではないかと思います。臨時職員も、何年勤めたらなにかするなど、そういうサービスで、高砂市でもう1年勤めてみようかと思ってもらえるようにしていっていいのではないかと思います。来年、2園がこども園になりますが、200人規模の園児数になって、私達職員もそこまで大きな園の経験が無いので、十分な人員の配置、ハード面で子どもたちを受け入れる設備が整っていても、なかのソフト面でどうしていけばいいのか、職員も不安ですしその辺をどうお考えなのかと思えます。以上です。</p>
<p>部会長</p>	<p>事務局の方からよろしいでしょうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>保育士確保、全国的に問題になっているようなことでございまして、本市におきましても、保育士確保に苦勞しているところでございます。7月に任期付職員の採用の募集をさせていただきましたが、誰も応募していただけませんでした。今まで年度途中で育休の職員が出たり、児童数が増えたことに対しましては臨時職員で対応していましたが、臨時職員の登録の方もいらっしゃらない、任期付職員の募集をしても人が集まらず、応募さえしていただけないような状況です。</p> <p>保育士就職フェアをしたり、ハローワークの方で働きかけをしたり、色んな人にお声がけしたりと、できるだけ手を尽くしている中で、確保できていないのが現状でございます。年度途中ではありますが、正規職員の採用も検討していきたいと思えます。採用の方法につきましても、今まで採用するにあたりまして、資格は幼稚園と保育士の資格が両方持っていないと採用はしておらず、これが高砂市の特長でした。両方の免許を持っている方が公立にいますよというのが特長でしたが、なかなか幼稚園のほうは受けなおして、研修もしていかなければならないためハードルが高いということですので、保育士資格を持っているが幼稚園の資格を持っていない方とか、いろんな方がいらっしゃる</p>

	<p>います。採用する際、保育士だけの資格の人も採用してはどうかという検討もしております。また、採用試験を実施する際には、筆記のテストやピアノ、絵本の読み聞かせのテストをしていきますが、特にハードルが高いのが筆記のテストです。筆記のテストを省くやり方も検討しています。手遊びや絵本、ピアノ、面接だけで採用できないかと、そういったところも考えています。採用の仕方も少し工夫をするのも検討していかなくて良い人材を見つけていかなければいけないので、筆記の試験は行いたいですが、正規職員じゃなくて臨時職員の方や任期付職員の場合は、資格の面や採用試験の内容を変えることも工夫していけたらと検討を進めているところでございます。賃金の問題もありましたが、民間施設だと処遇改善ということで毎年金額がアップしています。</p> <p>それに関して、市も研修の機会を充実させています。工夫の面が指摘されていますが、それでも、なお保育士の確保は重要な問題だと思っています。認定こども園の大きな施設ができる予定になっています。そのなかで、子どもの安全確保、先生の質の向上は重要なことですので、先生を確保することで安全が保たれたり、先生自身がしんどくならないように、いきいきと子どもたちの前で十分な教育・保育ができるよう、アイデアをいただきたいと思います。事務局の方でも意見を出し合いながら進め、支援が必要な障がい児もいる場合があるが、そういったところも含めて考えていかないと、いくら施設が充実しても、中身が伴わないといけませんので工夫をさせていただきたいと考えています。</p>
部会長	<p>ありがとうございました。それについてご意見ありますか。</p>
委員	<p>質の確保といったところで、民間からのお願いと検討していただきたいことが2点。</p> <p>1つは、認可外施設の件で、決まったことにはどうこうではないですが、今まで高砂市は、めずらしく公立民間非常に仲がよくて、各園が独自性を出しながら非常にレベルが高い教育・保育がされていたなかで、無認可が悪いわけでは無いが、基準が全然違いますので、その辺りをよく見ていってくださるということで、5年ないし今後ということで、高砂市で、姫路市で起こったようなわんずまぎーのような問題が起こらないように、よく管理していただきますようお願いしていただきたいというのが1点です。</p> <p>保育士の確保につきましては、民間では採用の仕方が違うのかなと思うのですが、不足していることは共通した問題とっております。他市から来られると、高砂市で運営している側としては恵まれているように思っています。</p>

	<p>明石市では、採用して7年間で100万円みたいな感じでキャッチーなフレーズで保育士さんの就職者が、それに流れていっている現象が起こってしまっていて、加古川もそのような方策をとり、姫路市もやりということで、高砂市と播磨がへこんだ状態で、学生の目に入らない現状が今まさに起こっているところで、事務局というより市町へ要望していきたいと思います。民間だけでなく公立も含めてキャッチーな就職したらいくらか、それが功を奏して明石市には待機児童はいますが、保育士さんは充足していますと会議では言われます。保育士さんが確保しやすいか、しにくいかで、今までハイレベルだった高砂市の教育・保育が、根底から崩されていくっていうのも非常に懸念しておりますので、その観点からも検討をしつこいですがお願いしたいと思います。無理なお願いだとは思っていますが、ご検討のほどどうぞよろしくお願いいたします。</p>
事務局	<p>認可外施設につきましては、今まで市としても、今までお付き合いのなかった施設、うかがうことのなかった施設についても無償化の対象となりましたので、基準がしっかり満たされているか見る義務が高砂市にも課されたということでございます。市の方も、お金を出す限りは、基準を満たしているか確認をしないとイケません。施設を確認するだけでなく、施設改善計画書も出していただくようなこともしてまいります。施設のほうも5年間という期間が限られていますので、基準を満たすように努力はされると思いますが、高砂市としても基準を満たさない劣悪なという表現も報道ではありましたけれど、そういうような状況にならないように市の方もしっかり関わっていきたくと思っています。</p>
部会長	<p>保育士の確保の方でもお金を上乗せしているのがありましたが、片方の市が10万円つんだら、片方の市が20万円、30万円という競争になっていくのがいいのかという問題があります。ただ、保育士就職フェアを高砂市がやったときに、ちょうど姫路市でもやっていました。高砂市いった後に、姫路市に行くという方もいました。来てもらわないと確保はできないので、何らかの対策をとっていく必要があると思いますので、今後も協議していく必要があるのではないかと考えています。</p> <p>ありがとうございます。養成校の立場からしまして、加古川に兵庫短期大学がありまして、その学生は地元に戻って就職する傾向があるように思います。高砂市に住んでいる学生は高砂で就職したいという傾向があります。就職対策で学生支援、派遣会社が学生に声をかけて、すぐに引っこかってしまうようなこともありますので、大学と</p>

	<p>してはそれを避けたいというふうに思っています。</p> <p>ちょっとのキャッチフレーズですぐに飛びつく学生もいますが、そういうことがないように、園の特徴や自分がどういうところで働きたいかという指導を重点にして、すぐに飛びつく学生が減少すればいいなと思っています。去年は特に派遣で苦しめられたところでございます。</p> <p>学童保育の立場からですが、幼稚園・保育園が無償化になって、働く親からするといいは思うが、小学校にあがった途端お金がかかってしまうというところで、学童保育では、普通の料金と市民税非課税世帯、単身非課税世帯、生活保護の4段階の料金体系をとっています。</p> <p>市民税非課税世帯は半額、単身非課税世帯は4分の1負担、生活保護は0というかたちの保育料にしていますが、おやつ代はいただいています。せっかくここまであるなら、もうちょっとしてもらえたらと思うのですが、昔は単身非課税世帯も0だったが、少しは料金を頂かないといけないとなってからごそと減りました。お金を払って預けるよりも、放置している方がいいというご家庭なので、そちらの方が虐待の問題も含めて危険だと思います。そういうご家庭をすくいとれないのではないかとそのあたりの検討もいただけるとありがたいなと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>ありがとうございます。もちろん、子どもは幼稚園・保育園の時代だけではなくて、小学校入ってからも、親御さんにとっては経済的負担があるところです。学童保育も、保護者の方から複数お子さんを預かっていただくご家庭であるとか、単身世帯の方とか経済的に苦しい状況にいる方もいるので、そういった軽減を独自でいただいているなかで、夏休みですと特別にかかる費用が負担になっているのは聞いています。</p> <p>課長から説明がありましたように、まずスペースの問題、来たいお子さんがみなさん、預かれる状態にするのが市の課題とっております。学童保育の方も待機児童がいない状況になっています。高砂市就学前児童、学童保育も待機児童ゼロを堅持していくためにやらなければいけない努力が目前に迫っています。市の方は、その努力をさせていただいて、保護者の方が希望すれば入れるような状況を作って差し上げるのが、まず、一番かなと思います。そのうえで次に進めていきたいです。今年度から至急取り組まなければならない状況が見えておりますので頑張っていきたいと思っています。</p>
	<p>事務局</p>

部会長	よろしいでしょうか。議題3のその他ですが、資料⑤利用定員の設定および変更について事務局から説明をお願いいたします。
事務局	【資料⑤利用定員の設定および変更についての説明】
部会長	事務局からの説明が終わりました。ただいまの説明についてご意見・ご質問等ございましたらお願いいたします。 続きまして、次回の第2回子ども・子育て部会の日程の調整をさせていただきたいと思いますが事務局よりお願いいたします。
事務局	【第2回子ども・子育て部会の日程調整】
部会長	議題は以上ですが、ほかにご意見等ございませんでしょうか。それでは以上を持ちまして令和元年度第1回高砂市子ども・子育て・部会を終了いたします。本日はありがとうございました。
事務局	部会長ありがとうございました。委員の皆さま、本日も忌憚のないたくさんのご意見をありがとうございました。これにて閉会をさせていただきます。本日は、どうもありがとうございました。